

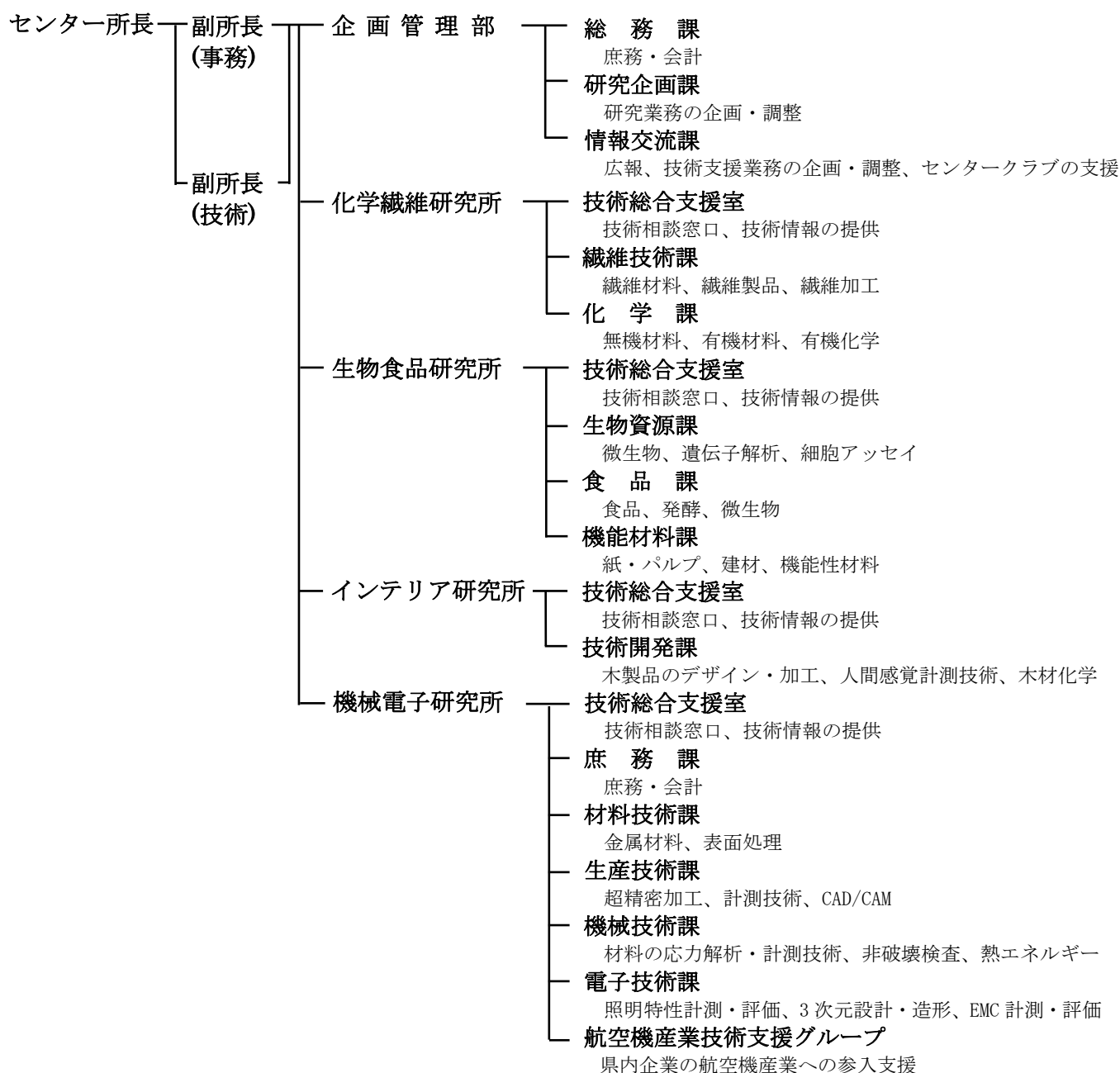
第1章

概 要

1-1 沿革

大正 14年 4月	福岡県福岡工業試験部、久留米工業試験部、福島工業試験部発足
昭和 2年 4月	試験部を試験場に改称
昭和 13年 8月	福岡県金属工業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 23年 8月	久留米工業試験場を国へ移管
昭和 29年 6月	福岡県直方鉱業試験場設立(昭和 56年 統合により廃庁)
昭和 29年 11月	福岡県福岡工業試験場久留米分場設置(昭和 53年 統合により廃庁)
昭和 32年 3月	福岡県福島工業試験場大川分場設置(昭和 37年 大川木工指導所に改称)
昭和 40年 4月	福岡県福島工業試験場大川木工指導所を福岡県大川木工指導所に改称
昭和 53年 5月	福岡工業試験場に久留米分場を統合し、福岡工業試験場を筑紫野市に設置
昭和 56年 6月	金属工業試験場と直方鉱業試験場を統合し、福岡県北九州工業試験場設立
昭和 57年 4月	福岡県大川木工指導所を福岡県大川工業試験場に改称
平成 2年 4月	4試験場を統合し、4研究所体制の福岡県工業技術センター設立、4試験場を改称(化学繊維研究所、材料開発研究所、インテリア研究所、機械電子研究所)
平成 7年 4月	材料開発研究所を廃庁し、福岡県工業技術センター生物食品研究所設立

1-2 組織と業務



1-3 令和元年度の方針

県内企業を取り巻く環境は、経済のグローバル化や情報化の進展による企業間競争の激化、人口減少や高齢化の進展による市場規模の縮小などにより、厳しいものになってきています。

このような状況を踏まえ、工業技術センターは、関係機関とも密接に連携しながら、高付加価値製品の研究開発から事業化までをきめ細かく総合的に支援する「県内中小企業の発展を支援する実践的研究開発機関」として、令和元年度も業務指針（第3期改訂版）に基づき次の業務を継続的に実施、「自立した開発型中小企業の育成」を進めました。

○研究開発

市場や企業のニーズを踏まえ、新技術の開発から企業での事業化までの一連の流れの中における研究開発を、効率的かつ組織的に推進します。

○人材育成

ものづくり現場の基盤技術を担う人材を育成するため、関係支援機関や大学、業界団体等と連携して、セミナーや実習等の企画、カリキュラムや教材作成、研修の実施などの取り組みを継続的かつ主体的に行います。

○技術相談

企業が抱える課題や求めるニーズをしっかりと把握して、研究開発事業や試験分析などへの展開を含めたきめ細やかな支援に努めます。

○情報収集・提供

企業や産業界の状況、ニーズを的確に把握するため、企業現場への訪問を積極的に行い、情報収集を実施します。また、工業技術センターや関係機関が持つ支援機能や研究成果等を積極的に情報発信します。さらに、補助金情報などをタイムリーに提供し、企業の活用を促します。

○技術交流

業界との技術研究会活動を推進し、face to faceの交流促進や情報把握、研究開発プロジェクト、県内の企業人材育成等への展開を図ることで、産業界の発展を支援・促進します。

○試験分析（依頼試験・設備使用）

新たな製品化、事業化につながる依頼試験や設備使用においては、その中から課題を把握し、公設のみならず民間を含めた他試験機関の紹介や連携を進めながら、解決に向けた支援を柔軟かつ積極的に行います。

○コーディネート

工業技術センターや関係機関が持つ支援機能なども活用し、これら機関と連携・協力して、それぞれのステージにあった総合的支援を行います。

また、新たな取り組みとして、機械電子研究所内の航空機産業技術支援グループに、「航空機産業専門員」を2名配置、県内川下企業における航空機産業への参入支援を開始した他、生物食品研究所内のふくおか食品開発支援センターに、「食品開発プランナー」及び「食品製造プランナー」をそれぞれ1名配置、付加価値の高い「売れる商品」の開発支援体制を強化しました。

さらに、インテリア研究所内に家具試作・評価支援ラボを開設し、付加価値の高い家具の試作・評価支援を行いました。

1-4 職員構成

区分\所属	企画管理部	化学繊維 研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(人)
事務職員	5	0	3	1	4	13
技術職員	10	15	20	10	34	89
労務職員	1	1	1	1	5	9
合計(人)	16	16	24	12	43	111

所長、副所長は企画管理部に含む。

1-5 土地及び建物

項目\所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(m ²)
土地(m ²)	12,687.57	12,698.10	6,016.12	9,104.00	40,505.79
建物(m ²)	5,517.74	5,729.31	2,342.00	6,456.59	20,045.64

1-6 支出決算額

科目\所属	企画管理部 化学繊維研究所	生物食品 研究所	インテリア 研究所	機械電子 研究所	合計(円)	
人件費	315,372,945	202,069,090	111,348,224	372,244,185	1,001,034,444	
研究所費	管理費	16,326,470	38,373,399	6,176,127	29,642,383	90,518,379
	研究費	31,168,762	25,875,855	14,668,113	47,603,742	119,316,472
	依頼業務費	2,767,455	494,800	840,051	2,504,518	6,606,824
	備品費	3,057,388	5,980,480	645,840	49,177,816	58,861,524
	小計	53,320,075	70,724,534	22,330,131	128,928,459	275,303,199
合計	368,693,020	272,793,624	133,678,355	501,172,644	1,276,337,643	

1-7 工業所有権

1-7-1 令和元年度に登録された特許（5件）

発明の名称	特許番号	登録日	備考
エレクトロウエッティングデバイス及びその製造方法(韓国)	1019705720000	H31.04.15	共同出願
電解研磨液	特許第 6544503 号	R1.05.31	共同出願
コラゲナーゼ阻害剤、並びにコラゲナーゼ阻害剤を配合した化粧品組成物及び機能性食品	特許第 6544503 号	R1.06.28	共同出願
アトピー性皮膚炎の予防治療用組成物、並びに当該予防治療用組成物を配合してなる医薬組成物、化粧品組成物及び機能性食品	特許第 6558793 号	R1.07.26	共同出願
金型の冷却構造	特許第 6635284 号	R1.12.27	共同出願

1-7-2 令和元年度に公開された特許（3件）

発明の名称	公開番号	公開日	備考
噴射ノズルおよび噴射方法	特開 2019-084523	R1.06.06	単独出願
新規な転写金型用入れ子の製造方法	特開 2019-093651	R1.06.20	共同出願
マイクロニードルアレイの製造方法及びマイクロニードルアレイ	特開 2020-025776	R2.02.20	単独出願

1-7-3 令和元年度までの特許総数等

(令和2年3月31日現在)

項目	件数	内訳
保有特許等	122 件	国内特許 64 件、意匠 10 件、実用新案 1 件、国際特許 47 件
出願特許	16 件	国内特許 12 件、国際特許 4 件
実施許諾契約	58 件	-

1-8 視察・見学等 (38 件)

化学繊維研究所 (9 件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
(株)久留米リサーチ・パーク	R1.07.31	4
九州経済産業局	R1.08.08	2
博多織工業組合	R1.08.09	1
(株)シマブン、(株)久留米リサーチ・パーク	R1.08.20	2
福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 環境物質コース	R1.11.11	12
(株)富士通総研、九州経済産業局、(株)大進	R1.11.12	5
JICA/(株)パデコ	R2.02.14	1
財務省主計局	R2.03.02	2
内閣府大臣官房会計課	R2.03.02	1

生物食品研究所 (5 件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
直轄次世代産業研究会	R1.07.25	12
(株)久留米リサーチ・パーク	R1.08.02	4
(公財)静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンター	R1.08.27	4
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R1.11.29	7
日本弁理士会九州会	R2.03.18	5

インテリア研究所 (14 件)

企業・団体名等	月日	人数(名)
福岡県議会、大川市、福岡・大川家具工業会、大川建具事業協同組合、大川商工会議所、大川インテリア振興センター 他	R1.05.24	24
大川商工会議所 他	R1.05.28	12
島根県産業技術センター	R1.06.25	2
大川市	R1.07.12	4
福岡県議会	R1.07.23	1
筑後商工会議所	R1.07.25	9
八女福島仏壇仏具協同組合	R1.08.19	2
(株)久留米リサーチ・パーク	R1.08.27	4
大川観光ガイドの会	R1.09.26	6
(一社)ポーケン品質評価機構	R1.11.19	2
(株)丸庄	R1.11.27	3
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R1.11.29	7
福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課	R2.01.16	3
大分県農林水産研究指導センター	R2.01.16	2

視察・見学等のつづき 機械電子研究所（10件）

企 業 ・ 団 体 名 等	月 日	人 数(名)
(国研)産業技術総合研究所 九州センター	R1.05.22	2
(株)久留米リサーチ・パーク	R1.08.08	4
九電産業(株)	R1.08.20	3
トヨタ自動車九州(株)	R1.08.29	1
(公財)北九州産業学術推進機構	R1.09.03	6
福岡県中小企業生産性向上支援センター	R1.11.06	4
福岡県立地企業振興会 飯塚支部	R1.11.08	20
TAPS 工法研究会	R2.01.29	18
直鞍自動車産業研究会、直掩次世代産業研究会、飯塚地域自動車産業研究会	R2.02.18	37
古賀市商工会 工業部会	R2.02.21	12

1-9 研究課題評価委員会

○開催概要

平成30年度研究実施結果に係る中間・事後評価

日時：令和元年5月30日(木) 10:10～15:30

場所：工業技術センター 研修室

対象：平成30年度実施研究課題 事後評価 4課題 中間評価 3課題

○委員

氏名(敬称略)	所属
○ 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネータ
○ 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
○ 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
○ 藤田 和博	(株)久留米リサーチ・パーク バイオ産業創出事業 サブリーダー
○ 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長
○ 森 直樹	九州工業大学 工学研究院 教授
○ 山内 恒	九州大学 学術研究・産学官連携本部 研究推進主幹

(五十音順) [○]:当日出席委員

○開催概要

令和2年度研究計画に係る事前評価

日時：令和元年9月5日(木) 10:00～14:30

場所：工業技術センター 研修室

対象：令和2年度実施研究課題 事前評価 5課題

○委員

氏名(敬称略)	所属
○ 仲 孝幸	(公財)飯塚研究開発機構 テクニカルコーディネータ
○ 野村 眞一	(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 産学コーディネータ
○ 平井 寿敏	(国研)産業技術総合研究所九州センター 所長
藤田 和博	(株)久留米リサーチ・パーク バイオ産業創出事業 サブリーダー
○ 藤本 潔	(公財)北九州産業学術推進機構 産学連携担当部長
○ 松尾 晃成	九州大学 学術研究・産学官連携本部 助教
森 直樹	九州工業大学 工学研究院 教授

(五十音順) [○]:当日出席委員

1-10 受賞・表彰・学位取得（11件）

内 容	対 象 者	月 日	備 考	
(一社)日本デザイン学会 第66回春季 研究発表大会 グッドプレゼンテーション賞	技術開発課 楠本 幸裕	R1.06.30	受賞テーマ:組子建具の3次元CG 製作と建具業界への普及	
	技術開発課 刈谷 臣吾			
	技術開発課 隈本 あゆみ			
	福岡県工業技術センター 所長 職員表彰	技術開発課 隈本 あゆみ	R1.06.30	受賞テーマ:産学官連携による地域 企業へのデザイン支援の取り組み
		技術開発課 石川 弘之		
		技術開発課 西村 博之		
福岡県工業技術センター 所長 職員表彰	技術開発課 楠本 幸裕	R1.07.22	高機能・低コストLED 照明器具の開 発	
	電子技術課 田中 雅敏			
	電子技術課 西村 圭一			
	電子技術課 古賀 文隆			
	電子技術課 吉村 賢二			
(公財)福岡県産業・科学技術振興財団 山本 圭一郎				
福岡県工業技術センター 所長 職員表彰	機械技術課 山田 圭一	R1.07.22	受賞テーマ:産業用薄板タンク部品 のプレス成形技術の開発	
	機械技術課 内野 正和			
令和元年度 九州・沖縄 産業技術オープンイノベ ーションデー 合同成果発表 会表彰 優秀賞	技術開発課 竹内 和敏	R1.09.26	受賞テーマ:革新的な塗装方法によ る、超高意匠・低コストな高耐久性塗 装鏡面家具の開発	
第8回ものづくり日本大賞 優秀賞	化学課 木村 太郎	R2.01.27	受賞テーマ:防振ゴム製品製造にお けるVOC排出ゼロと製造コスト削減 を実現する加硫接着プロセス	
	化学課 浦川 稔寛			
第8回ものづくり日本大賞 九州経済産業局長賞	技術開発課 友延 憲幸	R2.01.27	受賞テーマ:世界で唯一、握るだけで 自然に学習姿勢が良くなる、人間工 学を応用したグリップの開発	
	技術開発課 楠本 幸裕			
	技術開発課 刈谷 臣吾			
福岡県知事職員表彰 研究表彰	中小企業技術振興課 齋田 真吾	R2.02.17	受賞テーマ:機能性に優れた作業用 ゴム手袋の開発に関する研究	
	生物資源課 日下 芳友		表彰テーマ:微生物を用いた養豚用 脱臭資材の開発	
	生物資源課 齋藤 浩之			

内 容	対 象 者	月 日	備 考
福岡県職域表彰(知事表彰)	インテリア研究所 清水 宏昭	R2.02.17	新規家具試作評価支援拠点の整備
	技術開発課 西村 博之		
	技術開発課 友延 憲幸		
	技術開発課 石川 弘之		
	技術開発課 楠本 幸裕		
	技術開発課 竹内 和敏		
	技術開発課 岡村 博幸		
	技術開発課 刈谷 臣吾		
	技術開発課 隈本 あゆみ		
	技術開発課 柿塚 佳代		
	技術開発課 森 賢治		
化学課 大崎 徹郎			
技術士(繊維)	繊維技術課 堂ノ脇 靖巳	R2.03.06	(公財)日本技術士会

1-11 職員派遣研修 (15 件)

大学等に職員を派遣し、指導等を受けることにより、先端技術分野におけるポテンシャルの確立と研究開発の促進を図るもの。また、職員の技術指導能力等を向上させる目的で実施。

企画管理部 (1 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
知的財産研修(初級)	(独)工業所有権情報・研修館	R1.07.08-10	有村 雅司

化学繊維研究所 (3 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
CFRP の疲労・破壊特性と安全寿命予測および損傷観察	TH セミナーセンター(連合会館)	R1.10.18	木村 太郎
テキスタイルカレッジ「染色加工(実務と応用)」	日本繊維機械学会 (大阪科学技術センタービル)	R1.11.21-22	田村 貞明
実践アパレル講座「快適性」入門	日本繊維製品消費科学会	R1.12.05	藤田 祐史

生物食品研究所 (4 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
食品における“ガラス化・ガラス転移”のメカニズム・制御方法と製造・開発への応用	(株)テックデザイン	R1.07.23	坂田 文彦
オックスフォード・ナノポア現場の会	オックスフォード・ナノポア・テクノロジーズ・ジャパン	R1.08.21-22	奥村 史朗
機能性乳酸菌の選抜(有効性試験)と製品への利用	(株)テックデザイン	R1.09.11	黒田 理恵子
LAMP 研究会	栄研化学(株)	R2.01.18	奥村 史朗

機械電子研究所 (7 件)

研修名	研修先	期間	派遣職員
電磁ノイズ測定・対策技術研修(第1回)	岡山県工業技術センター	R1.06.24-25	川畑 将人 田中 雅敏
第46回コロージョン・セミナー	(公社)腐食防食学会	R1.07.31-08.02	菊竹 孝文
産総研のデジタル道場 ～AI/IoT 道場～	(国研)産業総合研究所九州 センター	R1.09.13	田口 智之
粒子分散技術入門セミナー	(株)情報機構	R1.09.24-25	吉田 智博
公設試験研究機関研究職員研修	(独)中小企業基盤整備機構 中小企業大学校東京校	R1.10.08-11	菊竹 孝文 山田 泰希
The Fuel Cell Seminar & Energy Exposition (FCS&EE)	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ロングビーチ Convention Center	R1.11.04-09	田口 智之
モノづくりに関する問題解決のためのデータサイエンス設計コース	(一社)日本科学技術連盟	R2.02.12-14	倉本 紘彰